

読書のすゝめ

その3 H 29 4 / 13

キミ本大賞

(君に贈る本)「元気をくれる本」編 発表

中学生、高校生が「生涯の1冊」と出会う手助けをしよう、読売中高生新聞が2014年に創設した「君に贈る本(キミ本)大賞」。全国の中学・高校の教員が、中高生に薦めたい1冊を書いて応募する文学賞で、第3回のテーマは、「10代に薦めたい『元気をくれる本』です」。

今回の選考アンケートには本校でも12名の先生が協力してくださいました。その中で4冊がベスト20に入っています。(6・10・15位に)



1位	夢をかなえるゾウ	水野敬也
2位	一瞬の風になれ	佐藤多佳子
3位	風が強く吹いている	三浦しをん
4位	赤毛のアン	モンゴメリ
5位	舟を編む	三浦しをん
6位	ランチのアッコちゃん	柚木麻子
7位	カラフル	森絵都
	下町ロケット	池井戸潤
	陸王	池井戸潤
10位	羊と鋼の森	宮下奈都
11位	星の王子さま	サン=テグジュペリ
12位	海賊とよばれた男 SLAM DUNK 坊ちゃん	百田尚樹 井上雄彦 夏目漱石
15位	神去なあなあ日常 佐賀のがぼいぼあちゃん 十二番目の天使 今日は、お日柄もよく 「また、必ず会おう」と誰もが言った。 モモ	三浦しをん 島田洋七 オグ・マンティエ/ 原田マハ 喜多川泰 ミヒヤエル・エンテ

※自分が感銘を受けた本を読んで、何かを感じてほしい。この思い、みんなに届け！
※本校図書館に所蔵されています(SLAM DUNKを除く)ので、読んで「パワーアップ」してください。



「夢をかなえるゾウ」水野敬也(飛鳥新社)

著者コメント

主人公は「人生を変えよう」として何かを始めるけど全部三日坊主に終わってしまうサラリーマン。しかし、ある日突然、彼の目の前にゾウの姿をした奇妙な生き物が現れます。「ガネーシャ」という名を持つ、インドからやってきたこの神様は、主人公の家にニートとして住みつき、ゲームをしては寝るだけ。たぶん、史上最悪のメンター(師匠)でしょう。しかし、ガネーシャはこう言います。今から自分が出す簡単な課題さえこなしていけば、お前は確実に成功する。成功を願う普通のサラリーマンとぶついたら神様ガネーシャ。正しいのか?」「そもそも成功とは?」「自己啓発書のメインテーマを、従来とは少し違った形(具体的に言うと、漫才です)で深めていきます」

「一瞬の風になれ」佐藤多佳子(講談社文庫全3巻)

※2007年の本屋大賞受賞作

主人公である新二の周りには、二人の天才がいる。サッカー選手の兄・健一と、短距離走者の親友・連だ。新二は兄への複雑な想いからサッカーを諦めるが、連の美しい走りに導かれ、スプリンターの道を歩むことになる。夢は、ひとつ。どこまでも速くなること。信じ合える仲間、強力なライバル、気になる異性。神奈川県の高陵陸上部を舞台に、新二の新たな挑戦が始まった。スタートからゴールまでの一瞬、爽やかな風になる……。スポーツをやったことのない人でも、爽やかな青春スポーツ小説です。



※次号は本屋大賞の話題!